



広報

うまじ

第323号

令和4年2月1日発行



馬路村は
「日本で最も美しい村」
連合に加盟しています。



～夢ある未来に向かって～

山崎村長
清岡教育長

(後列右から)

梶原京也
入江那菜
五百藏竜太

(前列右から)

一月二日に魚梁瀬多目的施設で馬路村成人式が開催されました。
二十五年前に魚梁瀬地区で開催され、今年は三人の新成人が出席されました。式典では、それぞれに近況報告を行い、将来についての思いを語りました。

- 第49回馬路村文化祭・
第10回馬路村ふれあい祭り 2
人権作文コンテスト 3
国民健康保険だより 4
保育所コーナー・赤ちゃん万歳 5
おらが村の学校便り㊦ 6・7

目次

- 議会だより・ヘリポート 8～11
地域おこし協力隊・エバンコーナー . . 12
中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会 . . 13
お知らせ 14
行事予定表 15
村内あちらこちら・村のできごと . . . 16

第49回馬路村文化祭

令和3年12月19日から22日の間、馬路村集会センターうまなびを会場に、第49回馬路村文化祭(主催 馬路村文化協会・馬路村教育委員会)及び第10回馬路村ふれあい祭り実行委員会(主催 馬路村ふれあい祭り実行委員会)が開催されました。

新しい施設で、はじめての開催となり、保育園児、小・中学生の作品や一般の方からも多数の作品が展示され、4日間で300人を超える来場者でにぎわいました。

今回は特別展示として、馬路村農協カレンダーなどの普段見ることのできない原画展示を行いました。来場者は、ユズを題材にした季節感あふれる作品を興味深く鑑賞されていました。



▶会場内の様子



▶屋外屋台の様子



▲特別展示の様子

また、南国市にある高知県立歴史民俗資料館が文化財のレプリカ等の出張展示を行ってくれました。作品展示以外では、今年も馬路村農協女性部による田舎寿司等の販売があり、販売開始から30分ほどで完売するほどの大人気でした。

馬路地区PTAのブースでは、ヨーヨー釣りと射的に子どもがひっきりなしに挑戦するなど盛況でした。バザーの商品を手品定めする方も見受けられました。

駐車場では、馬路地区PTAと魚梁瀬地区地域おこし協力隊による食べ物、お昼どきにはお腹をすかせた来場者で大変にぎわっていました。

第10回馬路村ふれあい祭り

生活習慣病予防等に効果を見込める減塩・野菜摂取・運動・節酒・禁煙の5つの分野の中から「減塩」をメインテーマに開催しました。

◎減塩コーナー

パネル展示では、減塩の必要性や生活の中での減塩のヒントなどを紹介しました。なかでも、食品サンプル展示では、汁ものや丼ものの塩分の多さを改めて認識された方が多くいました。塩分の過剰摂取は、腎臓病、がん、高血圧、脳卒中の原因となります。野菜などに含まれるカリウム(ほうれん草、枝豆、バナナ等)には塩分の排水を促す作用があります。ぜひ同時に摂取し、疾病予防に努めましょう。

また、馬路村食生活改善推進協議会による昆布とかつおだしたつぷりの減塩みそ汁の試食では、塩分控えめとは思えないしっかり旨味を感じ、みそ汁を賞味していただきました。そのほか、協議会が調理した、栄養バランスの取れた理想的な健康弁当のサンプルを展示し、レシピの配布を行いました。が、「購入したい」との声も多くありました。

▼健康チェックの様子



◎健康チェックコーナー

体内年齢・骨密度・脳年齢の3種類の測定機器は、老若男女問わず大盛況でした。実年齢よりも若く判定が出た方は、日頃の健康への取り組みの成果に喜ばれ、継続の重要性も認識されていました。

◎お米の炊き出し体験コーナー

馬路村赤十字奉仕団ブースでは、参加者に災害時を想定したハイゼックス(炊飯袋)でのお米の炊き出しを体験していただきました。地震等の災害が発生し、ライフラインが寸断された際に、避難所などで地域の食事確保につながる、貴重な体験学習となりました。



▲家庭のみそ汁と食べ比べ

令和3年度人権作文コンテスト高知県大会で、 馬路中学校3年・大野瑠菜さんが優秀賞受賞

馬路中学校3年の大野瑠菜さんが、人権作文コンテスト高知県大会で県内の中学校51校、4398編の中から優秀賞(RKC高知放送社長賞)を受賞しました。



「先入観とその先へ」

先入観、思い込み、偏見、どれも偏った考え方、視野の狭さから生じる思考。中学三年の夏、私は自分の考え方・社会のものの見方について深く考える時間を持ちました。

二〇二〇東京、一年延期されたオリンピックがコロナ禍で、沈んでいる人々の心に活気と元気を与えてくれました。オリンピックの各競技に感動したのも勿論、人類の身体能力の可能性に感動を越え、感銘を受け自身自身の心を奮いたたせてくれたものがパラリンピックです。

その主将を務める車イステニス選手の国枝慎吾選手のことを英語の教科書に掲載されていました。国枝選手や車イス職人の人達のコメントが英語で記されています。国枝選手は「車イスでテニスをやるなんてすごいことです。その時々言われます。そのことを聞くと私は違和感を覚えます。私たちはただ他の人と同じようにテニスをしているだけなのです。」と語っています。

私は、このさりげない

言葉にすぐ心を揺さぶられました。すごい、違和感という言葉が心にぐさりと突き刺さりました。その通りです。国枝さんにとって、ただ好きなテニスを懸命にしているだけなのに、車イスでテニスをするなんてすごいという捉え方自体が偏った見方になっているということに気づかされたからです。

私は「障がい」ということに、どこか心の垣根を持っていたかもしれせん。私たちの中学校では特別支援学校と交流学習をしたことがあります。

交流学習のとき、行く前にどのように接したら良いのか、どんな風に話したら良いのかすごく身構えてしまいました。でも実際に行くと、ごく普通に同世代としてレクリエーションをしたり、七夕飾りを作ったりして楽しく交流しました。ランチタイムもお互いに食べているメニューを見て、おいしそうとか話し、交流できました。笑い声もこだまし、ほのぼのと楽し

い時間が流れました。あの行く前の不安感は何だったのでしょうか。私は、はっと気づきました。もしかしたら、私が特別支援学校との交流に出発する前に持っていた感情は国枝さんが感じた違和感と繋がるのではないかと。自分の中にあつた先入観に気づかされました。

パラリンピックではたくさん感動がありました。その中で私の心に強く残ったシーンがひとつあります。視覚障がい者の水泳で介助をするタッパーの人のことです。ずっとパートナーとして寄り添った選手にどうしても金メダルを取らせてあげたい、銀ではなく金だという強い思いが彼にはあつたようです。金に拘った理由は表彰式です。メダルは首にかけられ、国旗が掲揚されますが、視覚障がいの人には国旗は見えない、けれど国歌は聞こえる、だから金メダル選手のみに与えられる栄誉を本人の感覚で味わわせてあげたいということです。それまでずっと

一緒に練習し、寄り添い過ぎてきた時間があるからこそです。本番のパラリンピック出場一種目で惜しくも銀メダルとなった選手の横で泣いているタッパーの方がその人です。私は、その姿を見て、それぞれに人としてものごとくにぶつかっていく姿、協力し寄り添っていく心を感じました。そこには違和感も偏見も一切存在しません。

私は、これから自分が進んでいく国際社会について深く考える夏を過ごしました。自分が人と関わり、共有する時間に「障がい」のこと、障がいがあることへの先入観や偏見がどれだけ不要なものかと実感しました。人が人として自分を高め成長していく、互いの個性や人格を尊重しあう社会、今まで持っていた先入観の先に明るい次代が見えてくるのではないのでしょうか。私は、その社会の一員でありたいと強く思いました。

作文の紹介
(原文のまま掲載)

国民健康保険だより

今号と次号の2回にわたり、国民健康保険（国保）の今後の方向性についてお知らせします。
今回は県単位での保険料水準の統一化についてお知らせします。

多くの方は、どの市町村でも国保制度は同じだと思っているのではないのでしょうか？

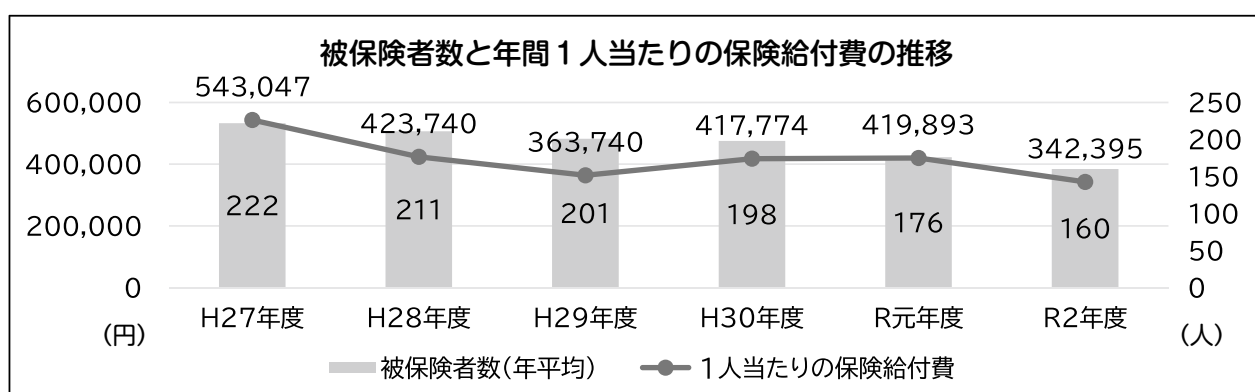
実は、平成29年度までは各市町村単位で国保を運営していたため、国保制度の大きな部分は同じでも、各市町村の条例等によって「国保税率」、「国保税減免の要件」、「葬祭費の支給額」など、細かな部分には違いがあります。

県内国保の保険料水準の統一について

平成30年度より高知県が財政運営の責任主体となり、必要な保険給付費を県全体で賄い、市町村は過去の医療費等に応じた納付金を県に支払うことで、財政の安定的な運営が可能になりました。

一方、馬路村は下の図の通り、被保険者数が年々減少しています。医療費については平成27年度以降、高額医療が減ったことにより大幅に下がっていますが、被保険者の少ない馬路村では、高額医療の発生等で1人当たりの医療費は急激に上がる可能性も高く、その場合、県に支払う納付金が増加し、ひいては国保税も上昇するリスクを抱えています。

県では、こういった小規模自治体で危惧されるリスクの回避と、県内国保の持続可能性の確保や被保険者間の公平性を確保した支えあう新しい仕組みづくりのため、これから約10年の期間をかけて、県内の保険料水準の統一を目指すこととしています。このため、村でも令和4年度から統一に向けた国保税の改定を行っていくこととしています。



方向性と目指す姿

①県内国保の持続可能性の確保

②被保険者間の公平性の確保

重要！

市町村内の支え合いから、市町村間でも支えあう仕組みへ
～ 国保の土俵を広げ、より大きな括りで保険を効かせる ～

保険料水準の統一

～ 県内のどこに住んでいても、同じ所得、同じ世帯構成であれば同じ保険料に ～



園庭の雪だるま

保護者と共に地域と共に育つ

愛情に満ちた環境で子ども一人一人に寄り添って
健やかな成長を育みます。

魚梁瀬保育所



交流会(もちつき) 12/15

馬路保育所でもちつきをしました。あんこの入ったお餅はとってもおいしかったよ。



支所・保育所合同消防訓練 11/1

消火訓練も体験しました。
ピカピカの消防車にも乗せてもらいました。



おもちゃまつり 12/22

保育所・小学校が連携して教育を行う一つの取り組みとして、小学1年生からの招待で学校に遊びに行きました。

1年生の和心さんが作った迷路ゲームや、どんぐり落としをして小学校でのひとときを楽しみました。



魚梁瀬保育所の子どもたちは、地域の人の温かい笑顔と恵まれた環境の中で、日々成長しています。今年もどうぞよろしくお願いします。



福岡 ようた 陽太さん (魚梁瀬)

令和2年11月6日生

(保護者 福岡直也さん・英梨さん)

こんにちは、福岡陽太です。
今年の11月で1歳になりました。
最近では僕も自我が出てきたので、お母さんお父さんは大変そうです。
魚梁瀬ではよく散歩に行っていて、みんなが声をかけてかわいがってくれます。僕は散歩が大好き。魚梁瀬の皆さんのおかげで、僕は人見知りしないまま大きくなっています。でも家では甘えん坊で、いつもお母さんのズボンをつかんで後をついて回っちゃう。お母さんはゆっくりしか歩けなくて、いつも僕に「バーজনロードか！」って突っ込んでいます。
お父さんは家ではいつもコーヒーを飲んだり、ビールを飲んでゆっくりしているのですが、男同士でもっと遊びたいな。あと僕も、朝のジョギングに連れてってほしいな。
馬路村の皆さん、愛嬌よしなので見かけたらぜひ声をかけてください。

赤ちゃん万歳

＊パパ・ママといっしょ





おらが村の学校便り 75



馬路村合同学習会

昨年10月27日、馬路村内の小中学生が、魚梁瀬小中学校に集まって、令和3年度の「馬路村合同学習会」を行いました。

〈小学校〉

〈中学校〉

守る側で10回以上勝てたので良かったけど、せめる側では、王様にたどり着いたけど負けちゃったので、くやしかったです。



じゃんけんピラミッド

開会行事
アイスブレイク



お絵かき伝言ゲーム

絵を描いたり、ジェスチャーをしたりして、みんながゲームをして楽しかったです。

音楽で、馬路の子と歌えて楽しかったです。1・2年生全員で授業をして、とっても楽しかったです。



1・2年生 音楽



3・4年生 体育

キャッチバレーボールをしました。負けてくやしかったけど、みんなが楽しくできたから、うれしかったです。

3校時



全校道徳『短文投稿サイトに
友達の悪口を書く』

いつもよりもたくさん人の意見を聞くことができて、いろいろな考え方があったのだと、改めて思いました。

苦手な音程取りですが、アルトに挑戦してみました。うまく歌うことができて良かったです。

4校時



全校音楽『大切なもの』
(混声三部合唱)

腹から声を出したら、大きく、きれいな歌ができました。大人数で歌うと、声が出しやすくてうれしかったです。

5・6年生 図工『墨と水から広がる世界』

水と墨汁を調節して、それぞれの人が自分が出していたので、すごいと思いました。



午後は

この劇で、森林鉄道のことがよく分かりました。劇を見て、将来、杉ぼっくりさんのように高知県をPRしたいです。

ありがとう

演劇鑑賞『森林鉄道物語』 魚梁瀬ふるさと劇団杉ぼっくり



劇と映像で『森林鉄道物語』

森林鉄道のことを分かりやすく演劇にしていました。私も魚梁瀬の自然や森林鉄道、人などを大切にしていきたいと思いました。



中学生の職場体験学習

昨年11月に、馬路中学校の2・3年生と魚梁瀬中学校の1・2年生が、村内の企業等での職場体験学習を行いました。

働いている人から『お客様に感動を届けたい』という強い想いが伝わってくるような、ていねいな仕事です。



シールがずれたらやり直し



結構つらい選別

働いている方々全員が、優しく教えてくれ、丁寧な指示をしてくださったおかげで、充実した3日間が送れました。



3人で3日分の農協ブログ作り

馬路村農業協同組合



保育所では、たくさんのことにくさんを配る気が配られなくて大変だったけれど、いっぱい癒やされて楽しかったです。

小学校では、丸付けや授業のお手伝いをしてみて、先生一人で全部しているんだなあと思いました。



魚梁瀬小学校／保育所

いろんな現場を見学したり作業をさせてもらったりしました。魚梁瀬の安全を守るのとても大変なことだと思いました。



ヘリポートのフェンス立て

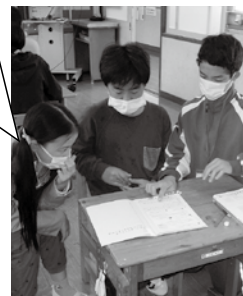
湯浅建設(株)



馬路郵便局

郵便局の仕事をするには、さまざまな資格がいることが分かりました。また、体験をする中で、どんなときでも人と話すことは大切だなと思いました。

先生の教える様子を見て、自分も立って教えるのではなく、児童の目線になって考えることが大切だなと感じました。



馬路小学校



馬路村
デイサービスセンター
馬路診療所

デイサービスと診療所では、利用者や患者さん一人一人の気持ちや状態に寄り添ってていねいな取り組みがされていました。

みんなと関わるうちに、責任感や積極性が身に付きました。これからの生活に生かしたいです。



一人一人に合ったコミュニケーションをするのが難しかったし、していいことといけないことをどう教えたらいいかも難しかったです。でも楽しかったです。

馬路保育所

人に見えないところや人が気づかないところで頑張っていることが分かりました。礼儀やマナーもあり、お金をもらうというのは大変なことでした。



最後に田舎寿司作りを教えてもらいました

いらっしゃいませ
ご注文はお決まりですか?



レストランは、ずっと立ったままで作業するので、足腰が大変でした。でも、温泉の皆さんが優しく教えてくださり、最後まで楽しくできました。

馬路温泉

議会だより

第167号

編集・発行
馬路村議会

12月定例会

令和3年12月定例会は、12月7日から10日までの4日間の会期で開催された。7日は行政報告など諸般の報告に続いて、専決処分の承認議案1件を審議、採決後9議案の提案説明が行われた。

8日は議案精査のため休会。

9日は6氏が一般質問を行った後、議案の審議、採決が行われ、議案9件を可決し、会期を1日繰り上げて閉会した。

令和3年 第7回 定例会で議決された議案などの賛否一覧表

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 一：議長

		岡田元生	栢山民夫	山中隆	皆津由理	五味隆仁	岩城勝則	小松博	木下英年	結果
承認議案第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度馬路村一般会計補正予算(第5号)について)	○	○	○	○	○	○	○	一	承認可決
議案第1号	馬路村立診療所医師の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
議案第2号	一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
議案第3号	馬路村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
議案第4号	馬路村福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
議案第5号	馬路村ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
議案第6号	馬路村国民健康保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
議案第7号	村立魚梁瀬診療所開設に伴う分担金徴収条例を廃止する条例について	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
議案第8号	令和3年度馬路村一般会計補正予算(第6号)について	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
議案第9号	令和3年度馬路村診療所特別会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	一	可決

令和4年 第1回 臨時会で議決された議案などの賛否一覧表

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 一：議長

		岡田元生	栢山民夫	山中隆	皆津由理	五味隆仁	岩城勝則	小松博	木下英年	結果
承認議案第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度馬路村一般会計補正予算(第7号)について)	○	○	欠	○	○	○	○	一	承認可決
議案第1号	工事請負契約の変更について(林道奥栗一谷線災害復旧工事 第2-179号)	○	○	欠	○	○	○	○	一	可決
議案第2号	令和3年度馬路村一般会計補正予算(第8号)について	○	○	欠	○	○	○	○	一	可決

委員会の活動報告

議会運営委員会

12月3日

令和3年第7回定例会の日程について

執行部提出予定の議案等により、会期を12月7日から10日までの4日間とし、8日は議案精査のため休会とした。

一般質問

一般質問には、6氏が立ち、次のとおり質問を行った。(質問趣旨、執行部答弁要旨)

山中隆 議員

工事について

問 村工事の発注と今後の方向及び県発注工事について伺いたい。また、河川工事で川が濁ったり、工事が集中したりしているが、県に工法の変更、時期の調整を求めるべきではないか。

答（村長）

工事発注等の全般的な状況としては、国の施策や考え方が大きく影響している。従来の取り組みに加えて平成30年からは、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」としてインフラの機能が維持できるように、予算が大幅に増額され3年間はあらゆる工事など緊急を要する対策を進めることができた。引き続き、令和3年から「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が講じられた。事業費の増額分は、国の補正予算で対応されることになり、村は3月補正予算に計上し、繰越予算として工事を発注するという流れが繰り返されている。これは県の工事と同じような状況が起きている。繰越予算が膨大となり、工事の発注計画等も立てづらい面はある。しかし、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の予算確保により、県が発注する県道安田東洋線の改良工事や砂防・治山事業、村が発注した社会資本整備総合交付金事業や林道事業なども加速的に実施されている。特に懸案であった、県道安田東洋線明神口トンネルは2月に開通を予定しているところである。また、繰越対応が土木業者の通年雇用にも

つながっているもので、今後も事業実施に向けて、国の事業の活用と予算確保のために層取り組んでいく。

また、安芸土木事務所のほか、安芸森林管理署や安芸林業事務所等の工事においても、河川の場合は漁期を避けた期間に行い、ユズの収穫期等と重なる折には、道路の通行などに支障を来さないようにするなど、常に発注者及び下請けを含む業者らと連携を密に取り、調整に努める。

小松博 議員

民家への日照確保対策について

問 本村の民有林は、戦後スギやヒノキが植林されており、現在、その大半は約60年生で、樹高は約30メートルと皆伐期を迎えている。大きく高く成長しているために、近年民家への日当たりが悪くなり困っている状況があると聞いている。村は、日照確保対策にどのような対処するのか。

また、対策事業のこれまでの実施例について問う。

答（村長）

村では、快適な生活環境の確保促進及び健康の増進を図ることを目的に、住宅への日照を阻害している立木を伐採した村民に対し

て、日照確保対策事業補助金を平成25年度から交付している。日照が悪くて困っている住民が、地区長等と交えて立木の所有者や周辺の住民の方々と話し合い、実際に立木を伐採されれば、立木に対する補償や伐採経費の一部を算定して補助金が支払われている。

本補助金交付の実績は、平成25年度に相名地区の北路と朝日出地区の影地で43万4千3百2円。直近では、平成元年度に相名地区の下田で49万4千円がある。しかし、令和2年度以降、補助申請の実績はゼロであった。今後も予算措置と補助事業の啓発を行っていききたい。

また、令和3年度から実施している馬路村里山整備事業と併せて民有林の整備を図り、景観の保全と快適な生活環境の維持・向上のために取り組んでいく。

岡田元生 議員

馬路村地域福祉計画の取り組みについて

問 第2期馬路村地域福祉計画は、平成29年から令和3年の5カ年を計画期間として策定され、基本理念を「一人ひとりを支えるあったかい村づくり」としている。

第4章の「じゅうみんを支えるかたちづくり」の⑥では「もつと工夫して福祉サービスを上させます。」として、

（1）村内外の交通手段の在り方について検討を行います。

（2）村での居住が可能な新たな施設サービスや在宅サービスの在り方について検討を行います。

（3）みんなで助け合い、暮らし続けることができるよう、居宅生活の充実に向け新しい仕組みづくりの検討をみんなでを行います。

の3点を挙げ、平成29・30年度を検討期間としているが、それぞれどのように検討されたのかを問う。

答（村長）

村内外の交通手段の在り方については、平成29年度に「馬路村地域交通を考える学習会」を開催し、続いて平成30年度には老人クラブやあったかふれあいセンターでの聞き取り調査結果を踏まえて、移動手段を考える機会として3回検討会を行った。その中で、住民主体で行う公共交通空白地有償運送制度で、専門医療のある安芸市や田野町へ送迎することについて協議を進めたが、実施主体と運行形態が決まらなかった。平成31年度には、実施主体

となる住民主体の組織の構築に向けて、各地区で説明会を開いた。ある程度の運転手を確保することができ、議論を重ねたが住民主体の組織の構築は困難であるという判断を下した。今後は、新たな形態での移動手段について検討することとしている。

施設サービス・在宅サービスの在り方、居宅生活の充実に向けた新しい仕組みづくりについては、検討のために話し合う機会も設けることができなかった。介護施設を整備するということは、介護保険料に大きく影響することは明白で、早い段階から広域的な視点に立ち、介護保険者である中芸広域連合との協議を深めることが重要であったが、それを理解せずに計画を作成したことが、検討が進まなかった原因である。

現在、介護人材の不足により、さまざまな介護サービスが非常に困難な状態になつてきつつあり、村のデイサービスセンターを維持することも難しくなるかもしれない。そのような状態になることも見据え、「地域で支え合い長く生活するためには、住民一人ひとりが自分には何ができるか」ということも考えていただくことが大変重要である。そのため、中芸広域連合地域包括支

援センターの支援を得て、「介護保険と中芸地区の現状」を題材に、各地区や団体にも入ってもらって話し合いを行ったが、具体的な取り組みにつながっていないのが現状である。

今後は、村民や馬路村社会福祉協議会等との話し合いの中から村としてできること、広域的に取り組むことなどを明確にし、福祉サービスの向上に向けて取り組んでいく。

林業の振興について

問 村長は昨年3月議会において、自伐型林業の講演会の実施や森林経営管理制度と併せて、山林所有者が山に目を向けるよう馬路村森林組合と協力をして、林業振興施策につなげていくと答弁されている。その後、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ウッドショックが起きて原木価格は2倍の水準になっているという。自伐型林業の講演会では、自伐型が自分で施業すると思われたのか、長く続いた木材価格の低迷のためか、山林所有者の関心や意欲は参加状況を見ても上がりにくく感じた。馬路村は、杉の生育に特別に適する気候と土地であり、ユズのような育成理念を作り、樹齢が100年を超え

るブランド大径杉を育て、生計がでる雇用場となる自伐型林業で、間伐の実施を今から行っていくことが必要かつ可能であると考え。地域おこし協力隊で自伐型林業に取り組んでいる佐川町などの先進事例に学び、森林経営管理制度や特定地域づくり事業、林業研修支援事業など県の補助制度を活用して人材の育成や確保を図り、林業の振興に努めていただきたい。

答（村長）

本村の民有林は55年を超え大きく高く成長している木が増えており、皆伐期を迎えているが、長引く木材価格の低迷や林業の担い手不足等の問題もあり、十分に手を入れてこれなかった経緯がある。そこで村では、令和2年度から林業振興策の一つとして自伐型林業の研究をはじめ、高知県佐川町や徳島県那賀町など先進地に視察に行くなど、森で生計を立てられる方法について検討を重ねた。そして、村内での理解を深めるために10月に講演会の開催、11月には村内関係者で推進協議会を立ち上げて、馬路村森林組合等と事業の推進に向けた話し合いを行い、村全体として事業に取り組んでいくことを確認したところである。

推進協議会の中でも、やはり山林所有者自らが施業を行うには、高齢化や若者には本来の仕事があり、取り組みには手が挙がりづらいのではないかとという意見も出された。しかし、実現の可能性に向けて、国の補助事業や森林環境譲与税等の財源を活用しながら民有林の整備を進めていきたいと考えている。

本村は、これまでも林業の振興を目指し、さまざまな施策を実施してきたが、ウッドショックや2050年までに温暖化の原因となる二酸化炭素の排出と吸収がプラスマイナスゼロになるようエネルギー利用の在り方等を実社会に組み入れていくカーボンニュートラルの取り組みなど、素材生産部門においては追い風を感じている。この機を逃さずに木材産業の全般と、山林が整備されて出てきた材を加工していく循環型林業の振興を図っていききたい。

五味隆仁 議員

地域振興事業について

問 村長は行政報告の中で「自伐型林業の実現可能性について検討を行っている」とし、先ほど「自伐型林業を推進していく」という答弁もされた。自伐型林業

の導入により期待する成果は何か、課題にどのような対策ができるのかを問う。

答（村長）

多くの山林を抱える本村において、自伐型林業を推進することにより、民有林を利用した仕事を創出し、生計を立てることができるという成功事例を作りたい。また、それらの人材が農業や地域の中でも活躍の場を広げることで、村に住む、住み続けていくという移住や定住の選択につながってほしいと考える。さらに、皆伐期を迎えている民有林の整備が進めば、水源の涵養や災害防止と日照確保等の効果も期待できる。

本村の場合は、自伐型林業を推進する小さな林業と既存の大きな林業を組み合わせる林業を振興していくと考えている。まずは理念や方針、将来に向けたビジョン等を構築し、具体的な施策の中で事業展開をしていきたい。主要施策の一つとなる自伐型林業については、森林環境譲与税を活用して行った山林所有者への意向調査内容も参考にしながら、50ヘクタールを目安に適切なフィールドを選定することが先決である。担い手には、地域おこし協力隊員2、3人の募集から始める。急峻な山林で作業道を抜いていくにあたり、大きな根株の除去作業など技術的研修の実施や人材育成のサポート体制づくり、自分の山を自分で施業する方への機械類の貸し出しや住宅の問題等、多くの課題を克服しながら、馬路村森林組合と連携の上、円滑に取り組むを進めていきたい。

皆津由理 議員

コロナ禍における学生らへの支援、特別村民らへのアプローチについて

問 新型コロナウイルス感染症の影響は長期化しており、新たな変異株の出現による感染拡大の状況下では、村への帰省を控えているという声が以前から聞かれ、困窮する学生らが問題視もされている。高知県内でも自治体から地元を離れた学生に、特産品の詰め合わせに就職情報を加えてエールを送る事例や、安心して帰省をしてもらうためにPCR検査キット等を配付しているという事例がある。本村からも、村を離れ他の地域で学んでいる学生や村出身者に対して、何らかの形で応援、支援をする対策が必要ではないか。

また、特別村民や馬路会の方々などとの交流の機会

がなくなり、関わり合いが薄れてしまっているように感じる。アフターコロナを見越し、より積極的なアプローチをすることはできないか、村としての考えを問う。

答（村長）

新型コロナウイルス感染症のまん延により影響を受ける学生や村出身者に対しての支援であるが、本村としては公平性や対象者のリスト化に伴う個人情報保護の観点を考慮し、支援の原資となるプレミアム商品券や地域振興券を発行活用していただいたところである。今後、例えば、村外に在住の家族や親族等に、村の特産品を届ける折に必要な補助金を交付することなど、新型コロナウイルス感染症対応の臨時交付金を活用した新たな支援策を考えてみたい。

特別村民へは、毎年ふるさと新聞を送付してきたが、今年度は内容を強化した。その結果、特別村民の方々から、応援メッセージやふるさと納税による寄附をいただいております。成果があったものと認識している。「特別村民大交流会」のようなものはまだ開催すべきときではないと思うので、引き続き情報発信に努めたい。馬路会は、会員の高齢化等で会の運営自体が難しくな

つてきている。運営主体である馬路会の会長と話をし、今後の関わり方を考えていきたい。

今後、国の情報をつかみ、ウィズコロナ、アフターコロナに向けて施策を打ち出していきたい。

杉山民夫 議員

福祉について

問 馬路村社会福祉協議会が運営しているデイサービスセンターは、12月18日より土曜日の営業が行われなくなると聞く。デイサービスセンターの運営及び維持には、村と馬路村社会福祉協議会が連携して行わなければならないが、村はどのような対応を考えるのか。

答（村長）

馬路村デイサービスセンターは、社会福祉法人馬路村社会福祉協議会を指定管理者として、令和3年4月1日から3年間の協定を締結し、運営をしている。現在の営業は月曜日から土曜日の週6日、午前9時から午後4時45分までとなっている。しかしながら、職員の不足により12月18日の土曜日から土曜日の営業は行わないこととしている。

職員確保のため、馬路村社会福祉協議会と連携し、

個別の声かけや中芸地区管内の関係機関への呼びかけ、宣伝広告を積極的に行つたところ応募があり、現在は面接等の準備段階であると伺っている。職員の体制が整い次第、土曜日の営業の再開に向けて、馬路村社会福祉協議会と相談したい。

福祉事業における人材不足は本村に限らず、中芸地区においても人材不足やスタッフの高齢化が起き、ホームヘルパー事業所の休止等が発生するなど、危機的な状況となっている。今後村としては、労働需要がある村内の事業者や労働者を派遣する特定地域づくり事業の実施を含め、あらゆる施策を研究して福祉人材の確保に取り組みたい。また、地域で支える活動を推進するため、その事例の情報を住民に提供していきたい。

第1回臨時会（1月18日）

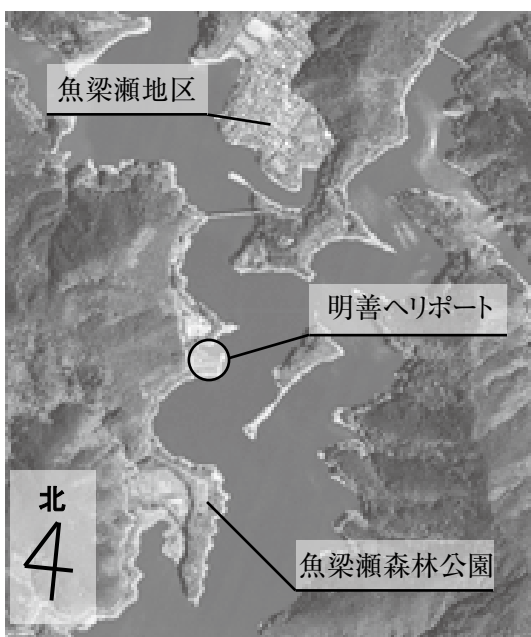
執行部提出の議案説明が行われ、審議の結果、原案どおり可決され、閉会した。

明善ヘリポート運用開始

魚梁瀬地区の明善に整備を進めていたヘリポートが完成し、運用開始となりました。

ヘリポートは緊急を要する患者を病院まで搬送するドクターヘリ、消防活動や人命救助を行う消防防災ヘリコプター等が離着陸を行います。

ヘリコプター離着陸の際には、ヘリポート周辺の通行規制を行いますのでご協力をよろしくお願いたします。



▲位置図



▲明善ヘリポート

地域おこし協力隊

うまじ

地域おこし協力隊の平瀬です。早いもので、馬路村に来てもうすぐ1年がたとうとしております。馬路村に来てからは初めての経験ばかりでした。

ユズ栽培では、初めてユズの収穫を体験し、その大変さを実感したと同時に、自然の中で働く充実感と住民の方にいただいたユズを親族や友人に送らせていただき、おいしかったなどの言葉をいただいて、馬路村に来てユズ栽培に携わってよかったなあと思います。



隊員 平瀬 奨馬

また、ユズ農家の方々を含め、たくさんの人と交流もでき、とても充実した年となりました！

そして、自分のガレージブランドのジビエレザーをふるさと納税の返礼品として出品させていただき、ありがたいことに注文も入り、気合が入っております。今年は馬路村のスギを使った返礼品を画策中です。馬路村でやりたいことはまだまだあるので、今年はいろいろとチャレンジしていきます！

エバンコーナー



国際交流員：スカルディノ・エバン

年始に関西へ旅行に行ってきました。旅行中、日本の伝統的なお正月の過ごし方を体験することができ、奈良県のお雑煮を食べて、着物を着ました。3年ぶりに関西を訪れ、留学時代の友達に会えたことは大変うれしかったです。

アメリカは、地方によって冬の過ごし方が大きく異なります。

私の地元のニューヨークの冬は寒くて、雪がよく降ります。雪が積もると子どもたちは雪を楽しみます。私も子どもの頃は、雪合戦をしたり、そりに乗って坂を下ったりして、雪の中で遊びました。

一方で私が父の仕事の関係で13歳から5年間住んでいたロサンゼルスでは、冬に雪が降ることもなく、12月でも最高気温が20℃近くあり、最低気温も10℃前後です。快適に過ごせることもあり、寒さが嫌いなアメリカ人が集まります。このように気候も地域によってさまざまです。皆さんもいつかアメリカに行って、いろいろな季節を経験してみてください。



▲久しぶりの京都の鴨川で

中芸の「ゆずと林鉄」日本遺産のことを知り、その魅力を感じ、そこに行ってみたいと思う人を増やすために、**ゆず林鉄 expo2022** を令和4年2月6日(日)～20日(日)の期間に開催します。

ゆず林鉄 expo2022
The scenery and Food Culture of Forest Chugel region

2月6日(日)～20日(日)
2月13日(日)～20日(日)

オーテピア高知図書館 × 高知城歴史博物館

オーテピア高知図書館 (高知市通平尾2丁目1-1)
高知城歴史博物館 (高知市通平尾2丁目7-1)

2.6日 - 20日 2.13日 - 20日

「ゆず林鉄expo2022」は、伝統的スタイルを継承しながら、最新のデジタル技術を活用し、中芸地域の魅力を発信します。

「ゆず林鉄expo2022」は、伝統的スタイルを継承しながら、最新のデジタル技術を活用し、中芸地域の魅力を発信します。

主催：中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会
共催：四国遍路日本遺産協議会

- ◆ 会場：オーテピア高知図書館
期間：2月6日(日)～20日(日)
時間：平日 9時～20時(月曜休館)
土・日・祝 9時～18時
内容：・写真展「百年後に残したい魚梁瀬森林鉄道百枚の写真」
・魚梁瀬森林鉄道遺構の林鉄運行当時の様子を再現したジオラマ展示
- ◆ 会場：高知城歴史博物館
期間：2月13日(日)～20日(日)
時間：平日・土 9時～18時
日 8時～18時
(20日は16時まで)
内容：・日本遺産の紹介 展示と映像「森林鉄道から日本一のゆずロードへ」、「四国遍路」のほか、全国5カ所の日本遺産を展示と映像で紹介

問い合わせ：中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会事務局
(中芸広域体育館内) Tel: 0887-30-1865
Mail: yuzurintetsu@mk.pikara.ne.jp
HP: <http://yuzuroad.jp/>「ゆずとりんてつ」で検索



お知らせ

「令和3年度子育て世帯への臨時特別給付」手続きはお済みですか

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、子どもたちを支援し、未来を拓く観点から臨時特別給付を実施しています。この給付の対象となる方は以下のとおりです。対象者で手続きがお済みでない方は速やかに手続きください。

- ◆対象児童：①令和3年9月分の児童手当支給対象となる児童
②令和3年9月30日時点で高校生（H15.4.2～H18.4.1生まれ）
③令和4年3月31日までに生まれた児童手当の支給対象児童
- ◆給付額：対象児童1人につき100,000円相当額（給付自治体により給付方法は異なります）



問い合わせ先 馬路村役場 健康福祉課 (Tel ⑧44-2112)

令和4年度「馬路村奨学資金奨学生」募集

- ◆申込受付期間
4月1日（金）から4月28日（木）まで
- ◆奨学生の資格
①本村に本籍を有するまたは本村において義務教育9年間在籍をした者で、高等学校、大学ならびにこれに類する各種学校に在学する生徒、学生
②規律を重んじ、向学心に富み、意志が強固で学資の支弁が困難と認められる者
※奨学生は、馬路村奨学生選考委員会の選考を経て決定し、通知します。
- ◆貸付金の額
①高等学校 月額2万円以内
②大学ならびにこれに類する各種学校 月額4万円以内
※貸付金は無利息です。
- ◆申込方法
奨学資金貸付申込誓約書ほかを教育委員会へ提出ください。
（申し込みには、連帯保証人2人が必要です。）

申し込み・問い合わせ先

教育委員会 (Tel ⑧44-2216)

安芸税務署から確定申告会場の開設について

新型コロナウイルス感染症の感染リスク軽減のため、入場整理券が必要となっておりますので、ご理解とご協力をお願いします。入場整理券は、会場で当日配布しますが、LINEアプリを通じたオンライン事前発行も可能です。

- ◆開設期間 2月16日（水）から3月15日（火）までの平日
- ◆受付時間 午前8時30分から午後4時まで
※入場整理券の配布状況に応じて、受付を早めに締め切ることがあります。
- ◆相談開始時間 午前9時

問い合わせ先 安芸税務署 (Tel 0887-35-3115)

2月・3月 むらの行事予定



2 月		
1	火	有害物収集
2	水	1歳6カ月児健診・3歳児健診(奈半利町防災センター)
3	木	
4	金	
5	土	県道安田東洋線明神口トンネル開通式典(安田町)
6	日	
7	月	
8	火	リサイクル収集
9	水	乳児健診(奈半利町防災センター)
10	木	
11	金	古紙収集(魚梁瀬) 建国記念の日
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	馬路小学校体験入学
16	水	確定申告及び住民税申告受付(～3月15日) 9:00～17:00
17	木	
18	金	人権相談所(魚梁瀬多目的施設) 10:00～15:00 行政相談所(魚梁瀬多目的施設) 10:00～12:00 新型コロナワクチン追加接種(3回目)(馬路村集会センターうまなび)
19	土	生活発表会(馬路保育所)
20	日	
21	月	魚梁瀬小学校体験入学
22	火	リサイクル収集 確定申告及び住民税申告受付(魚梁瀬多目的施設) 9:30～16:30
23	水	天皇誕生日
24	木	
25	金	古紙収集(馬路)
26	土	
27	日	
28	月	

3 月		
1	火	有害物収集
2	水	乳児健診(奈半利町防災センター)
3	木	ひなまつりお楽しみ会(魚梁瀬保育所) やなせひな祭り(～6日)
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	リサイクル収集
9	水	
10	木	
11	金	古紙収集(魚梁瀬)
12	土	馬路中学校卒業式
13	日	魚梁瀬小・中学校卒業式
14	月	
15	火	
16	水	巡回図書(馬路村集会センターうまなび) 10:40～11:30 1歳6カ月児健診・3歳児健診(奈半利町防災センター)
17	木	
18	金	新型コロナワクチン追加接種(3回目)(馬路村集会センターうまなび)
19	土	
20	日	
21	月	春分の日
22	火	リサイクル収集
23	水	馬路小学校卒業式
24	木	馬路保育所卒園式 庄屋祭・鬼門堂祭 修了式・離任式(村内4校)
25	金	古紙収集(馬路) 新型コロナワクチン追加接種(3回目)(魚梁瀬多目的施設) 魚梁瀬保育所卒園式
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

人 口 月中異動	増 加				減 少				月末現在 人口合計
	出生	転入	職権	計	死亡	転出	職権	計	
12月	0	0	0	0	1	0	0	1	833
1 月	0	2	0	2	1	1	0	2	833

馬 路 674人、330世帯
魚梁瀬 159人、91世帯
(外国人含む)

馬路村特別村民 11,937人
(1月31日現在)



村内あちらこちら



12月4日 馬路熊野神社秋の例大祭



12月21日 中芸地域中高合同発表会(田野町ふれあいセンター)



1月1日 新春走り初めピットリタイムレース(魚梁瀬)



1月2日 新春走り初めピットリタイムレース(馬路)



1月9日 消防出初め式(田野町)

村のできごと

12月

- 1日 馬路小学校校内持久走大会
- 3日 魚梁瀬小・中学校校内持久走大会
- 4日 馬路熊野神社秋の例大祭
神楽発表会(馬路熊野神社)
- 7日 ペタンク大会(魚梁瀬)
- 16日 ふれあい餅つき(魚梁瀬小・中学校)
- 19~22日 第49回馬路村文化祭
(馬路村集会センターうまなび)
- 19日 第10回馬路村ふれあい祭り
(馬路村集会センターうまなび)
- 21日 「総合的な学習・探究の時間」
中芸地域中高合同発表会
(田野町ふれあいセンター)

1月

- 1日 新春走り初めピットリタイムレース(魚梁瀬)
- 2日 新春走り初めピットリタイムレース(馬路)
成人式(魚梁瀬多目的施設)
- 9日 消防出初め式(田野町)
- 15日 どんど焼き(丸山公園)
- 29日 杉の子発表会(魚梁瀬小・中学校)

編集後記

年末に、友人や昔仕事でお世話になった方たちと久しぶりに集う機会がありました。私を含め、皆それぞれ年を重ねた姿があり、昔話や近況報告等、話がつきることなく、とても楽しい時間を過ごしました。改めて気兼ねなく語りあえる友人たちがいることの大切さを感じるいい機会となりました。

(大)

編集発行 ▶ 馬路村教育委員会

住所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村大字馬路443
TEL 0887-44-2216 FAX 0887-42-1010
E-mail umaji-v@kochinet.ed.jp

印刷 ▶ 株式会社 高知新聞総合印刷